

小・中学校の望ましいあり方を考える

望ましい学校・学級規模とは？

勝山市の教育方針

- (1) 心の教育を推進し、新世紀を担う人材の育成を目指す。
- (2) 誰もが社会の一員としての自覚を持ち、一人ひとりが生かされる地域づくりを目指す。
- (3) 家庭・学校・地域の主体的な活動と連携により、社会全体の教育力の向上を目指す。

「小・中学校の望ましいあり方」について

激動する21世紀を力強く生き抜く児童・生徒の育成を図ることが、今、至るところで求められています。そのためには、学校の果たす役割を今一度見直し、時代に即した学校教育の在り方を考えていく必要があります。

そこで、教育委員会では、本市の教育方針の精神に則り、『小・中学校の望ましいあり方検討委員会』を立ち上げ、下記の二つの観点で、学校の活性化を図るために、平成16年度から平成18年度までの3年間をかけて、検討を始めることになりました。二つの観点は、以下の通りです。

「地域に開かれた魅力ある学校づくり」

「学校の適正規模から見た望ましい学校づくり」

は、学校が存在する地域の環境を生かし、地域の方々の力をお借りして、学校長のリーダーシップのもと、特色ある学校づくり、魅力ある学校づくりに取り組むものです。

また、は、児童・生徒の成長にとって必要とされる集団教育の場が、どの程度の学校規模、学級規模であることが最も適正であるのか、児童生徒の立場に立って検討していくものです。

こういった現状を踏まえて、検討委員会では、勝山市の望ましい学校教育のあり方について、平成16年度末に下記のような中間発表を行っています。

平成16年度「小・中学校の望ましいあり方検討委員会」の中間報告

- (1) 学校と地域は関係が深いので、地域の方の意見を学校教育の中に反映させるとともに、地域の教育力を活用し、地域に開かれた魅力ある学校づくりを進める。
- (2) 校区の方に、子どもの数が大きく減少している現実を説明すること及び住民の方の意見を聞く機会を設ける。
- (3) 望ましい教育環境をつくるため、地域住民一人一人が魅力ある学校づくりを支援するとともに、子どもの数の減少を食い止め増える手立てを考える。
- (4) 児童生徒の減少が著しく、このままの状態では、将来極めて小規模の学校ができる。そこで、現実を踏まえて、学級・学校の望ましい規模を検討する必要がある
- (5) 市民各界各層から広く意見を聞く方法について検討するとともに、情報の公開を進める。
- (6) 校区外から入学を認める特認校制度等についても、調査研究を行う。
- (7) 検討委員会による「小中学校の望ましい在り方」の検討を継続して進める。

この中間報告を受けまして、本年度、「小中学校の望ましいあり方」各地区対話集会を行い、また、特認校の視察も行いました。各地区での対話集会では、統廃合案を出す必要があるのではないかという意見が出され、検討委員会で「小中学校の統廃合」について検討されました。その中で、次のようなご意見が出されています。

- （１）複式での学習は、２学年を一度に教えるため指導が大変であります。児童が自分で学習する力はつきますが、児童同士の多様な意見が出にくいことが予想されます。**
- （２）１学級が少なくとも１８名を超える学級では、班活動も行うことができ、学ぶ上でも多様な意見が出るなど集団活動が期待できる。**
- （３）１学年に２クラス以上ある学校では、他のクラスと協力し合ったり、競い合ったりしてお互いに切磋琢磨することができます。団体競技や多人数を必要とする活動を行うことが可能となり、児童の選択肢も多くなります。また、人間関係がうまくいかない場合でもクラス替えを意図的に行うことによって、好ましい状況に変えることが可能になります。**

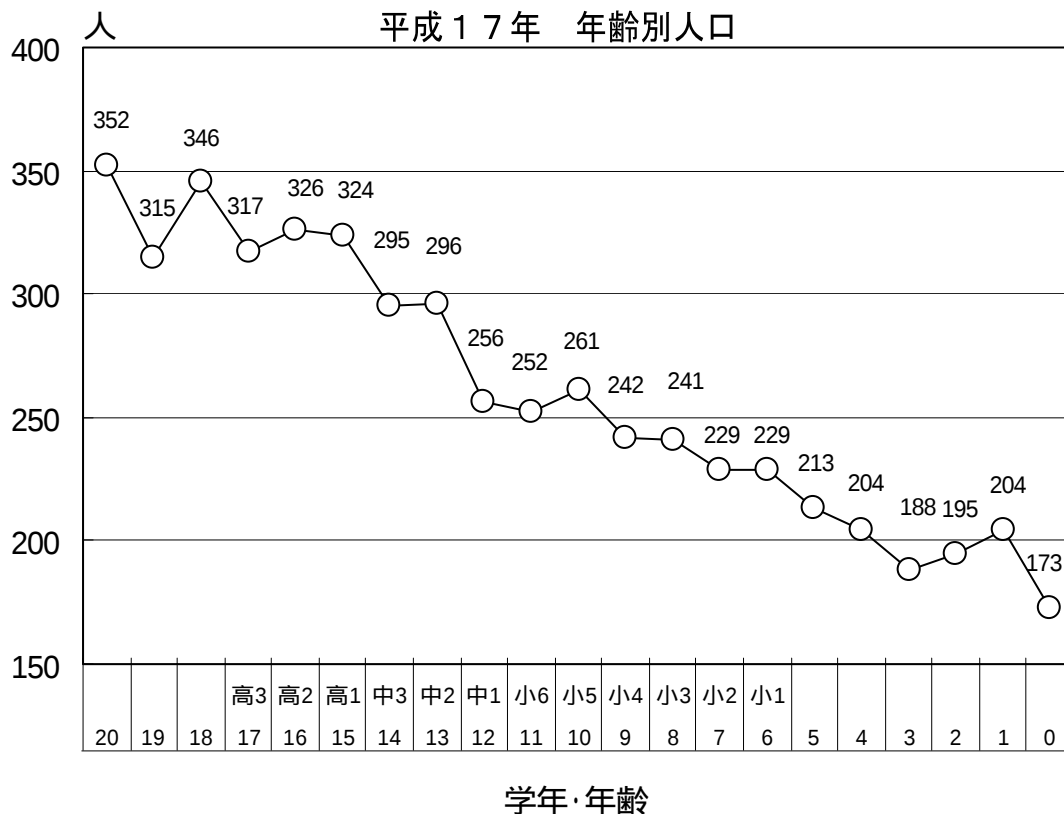
こういった意見をもとに、検討委員会では、議論を深めるために「学校の統廃合」についても考えて参りました。

本日は、「小・中学校の望ましいあり方」のうち、特に望ましい学校の規模について考えていただくということで、学校の統廃合案を３つ提示させて頂きました。現在の学校をより良くするという観点で、統廃合により何が変わるのかを、保護者の皆様お一人お一人に真剣に考えて頂くことを目的に、この会を設定させて頂きました。

各小学校の平成17年と平成23年の児童数の推移

		平成17年									平成23年 見込み									児童増
校区	学 年	1	2	3	4	5	6	計	学級数	1	2	3	4	5	6	計	学級数	減率%		
南部中 校 区	平泉寺	8	9	8	12	16	13	66	6	1 複式	5	5 複式	7	8 複式	7	33	3	- 50.0		
	成器南	82	79	81	84	79	59	464	14	57	62	66	72	70	71	398	12	- 14.2		
	三 室	6	8	複式		12	14	53	5	7	5 複式		6	6 複式		5	7	36	4	- 32.1
中部中 校 区	成器西	37	36	43	34	54	56	260	9	26	43	32	28	33	29	191	7	- 26.5		
	村 岡	38	35	41	41	46	45	246	10	35	27	33	30	38	40	203	7	- 17.5		
	野 向	4	8	複式		複式		25	4	5	9 複式		1	7 複式		7	36	4	+ 44.0	
北部中 校 区	荒 土	17	21	17	27	14	19	115	6	8	14	21	8	16	15	82	6	- 28.7		
	細野分校	0	複式						7	1	2 複式		1					4	2	- 42.9
	鹿 谷	21	18	17	18	18	19	111	6	21	22	16	16	17	17	109	6	- 1.8		
	北 郷	17	11	15	16	18	23	100	6	11	16	14	14	10	20	85	6	- 15.0		
合 計		230	228	237	241	260	251	1,447	67	173	204	195	188	204	213	1,177	57	- 18.7		

複式 は複式学級を示しています。複式学級は隣接する2つの学年を合わせて16人以下の場合に編制されます。ただし、第1学年を含む場合には、第2学年との合計人数が8人以下の場合に編制されます。



平成17年 各校区・地区 年齢別人口

学校区	学年・年齢 地 区	平成23年 児童数見込(現0～5歳)						
		1年 0歳	2年 1歳	3年 2歳	4年 3歳	5年 4歳	6年 5歳	計
平泉寺小学校 校区	平泉寺			3	4	2	4	13
	赤尾		2				1	3
	笹尾					1	1	2
	大渡		1		1	2		4
	壁倉	1	1	2		1		5
	岩ヶ野		1		1	1		3
	大矢谷							0
	小矢谷							0
	神野				1		1	2
	経塚					1		1
	上野							0
	池ヶ原							0
	合 計	1	5	5	7	8	7	33
成器南小学校 校区	元町 2	6	7	5	4	3	7	32
	元町 3	6	3	8	10	6	7	40
	旭町 1	2	4	5	4	2	7	24
	旭町 2	9	9	10	7	14	7	56
	旭毛屋町	11	10	12	16	13	10	72
	立川町 1	2	6	3	3	7	6	27
	立川町 2			1	2		2	5
	本町 4	2	3	1		7		13
	上芳野	1						1
	猪野口			1			1	2
	若猪野	2	1	2	3	2	4	14
	高島	3	2	3	1	3	1	13
	毛屋	4	3	2	7	5	6	27
	西高島							0
	猪野	4	3	6	3	3	5	24
	片瀬	3	3	1	5	3		15
	片瀬町	1	8	6	7	2	6	30
	岡横江	1					2	3
	合 計	57	62	66	72	70	71	398
三室小学校 校区	下荒井						1	1
	嶗崎	3		1				4
	大袋	1		3	1	1	2	8
	新道	2	4	1	1	2	2	12
	北山				1		1	2
	蓬生					1		1
	中島		1				1	2
	千代田	1			3	1		5
	比島			1				1
	合 計	7	5	6	6	5	7	36
南部中校区合計		65	72	77	85	83	85	467

平成17年4月1日現在の人数から算出 平成17年 児童数(現6～11歳)							
1年 6歳	2年 7歳	3年 8歳	4年 9歳	5年 10歳	6年 11歳	計	
3	6	4	5	3	6	27	
1	1	1	1	3	1	8	
1			1	1	1	4	
			1	2	4	7	
	1		1	2		4	
2		2	2	2		8	
						0	
1	1					2	
			1			1	
				3		3	
		1			1	2	
						0	
8	9	8	12	16	13	66	
9	6	9	8	15	5	52	
6	3	7	9	8	8	41	
3	8	3	9	5	3	31	
13	7	14	11	13	11	69	
17	10	12	18	12	7	76	
7	5	8		3	5	28	
1			1	1	1	4	
2	7	5	4	2	2	22	
						0	
			1			1	
2	2	2	4	2	3	15	
2	3	1		1	1	8	
5	5	7	6	2	4	29	
		1				1	
5	6	4	3	3	2	23	
4	3	4	1	3	2	17	
5	11	3	6	8	4	37	
1	3	1	3	2	1	11	
82	79	81	84	80	59	465	
2		2		1	3	8	
		1		1	1	3	
	2				2	4	
	2	2	1	6	2	13	
2				1	1	4	
	1	2	2	1	1	7	
	2	1			1	4	
2	1	1	1	1	2	8	
				1	1	2	
6	8	9	4	12	14	53	
96	96	98	100	108	86	584	

平成17年 各校区・地区 年齢別人口

学校区	学年・年齢 地 区	平成23年 児童数見込(現0～5歳)						
		1年 0歳	2年 1歳	3年 2歳	4年 3歳	5年 4歳	6年 5歳	計
平泉寺小学校 校区	平泉寺			3	4	2	4	13
	赤尾		2				1	3
	笹尾					1	1	2
	大渡		1		1	2		4
	壁倉	1	1	2		1		5
	岩ヶ野		1		1	1		3
	大矢谷							0
	小矢谷							0
	神野				1		1	2
	経塚					1		1
	上野							0
	池ヶ原							0
	合 計	1	5	5	7	8	7	33
成器南小学校 校区	元町 2	6	7	5	4	3	7	32
	元町 3	6	3	8	10	6	7	40
	旭町 1	2	4	5	4	2	7	24
	旭町 2	9	9	10	7	14	7	56
	旭毛屋町	11	10	12	16	13	10	72
	立川町 1	2	6	3	3	7	6	27
	立川町 2			1	2		2	5
	本町 4	2	3	1		7		13
	上芳野	1						1
	猪野口			1			1	2
	若猪野	2	1	2	3	2	4	14
	高島	3	2	3	1	3	1	13
	毛屋	4	3	2	7	5	6	27
	西高島							0
	猪野	4	3	6	3	3	5	24
	片瀬	3	3	1	5	3		15
	片瀬町	1	8	6	7	2	6	30
	岡横江	1					2	3
	合 計	57	62	66	72	70	71	398
三室小学校 校区	下荒井						1	1
	嶗崎	3		1				4
	大袋	1		3	1	1	2	8
	新道	2	4	1	1	2	2	12
	北山				1		1	2
	蓬生					1		1
	中島		1				1	2
	千代田	1			3	1		5
	比島			1				1
	合 計	7	5	6	6	5	7	36
南部中校区合計		65	72	77	85	83	85	467

平成17年4月1日現在の人数から算出 平成17年 児童数(現6～11歳)							
1年 6歳	2年 7歳	3年 8歳	4年 9歳	5年 10歳	6年 11歳	計	
3	6	4	5	3	6	27	
1	1	1	1	3	1	8	
1			1	1	1	4	
			1	2	4	7	
	1		1	2		4	
2		2	2	2		8	
						0	
1	1					2	
			1			1	
				3		3	
		1			1	2	
						0	
8	9	8	12	16	13	66	
9	6	9	8	15	5	52	
6	3	7	9	8	8	41	
3	8	3	9	5	3	31	
13	7	14	11	13	11	69	
17	10	12	18	12	7	76	
7	5	8		3	5	28	
1			1	1	1	4	
2	7	5	4	2	2	22	
						0	
			1			1	
2	2	2	4	2	3	15	
2	3	1		1	1	8	
5	5	7	6	2	4	29	
		1				1	
5	6	4	3	3	2	23	
4	3	4	1	3	2	17	
5	11	3	6	8	4	37	
1	3	1	3	2	1	11	
82	79	81	84	80	59	465	
2		2		1	3	8	
		1		1	1	3	
	2				2	4	
	2	2	1	6	2	13	
2				1	1	4	
	1	2	2	1	1	7	
	2	1			1	4	
2	1	1	1	1	2	8	
				1	1	2	
6	8	9	4	12	14	53	
96	96	98	100	108	86	584	

平成17年 各校区・地区 年齢別人口

学校区	学年・年齢 地 区	平成23年 児童数見込(現0～5歳)						
		1年 0歳	2年 1歳	3年 2歳	4年 3歳	5年 4歳	6年 5歳	計
荒土小学校 校区	松田	1	1	2			1	5
	田名部							0
	布市		1			1	1	3
	清水島	1	2	3		1		7
	北新在家		1		2	1	1	5
	別所	1		1		1	2	5
	境	2	1	1	2		1	7
	戸倉							0
	西ヶ原						1	1
	新道					2		2
	細野口	1	2		1	3	1	8
	北宮地			3	1	1	1	6
	堀名		2	1			2	5
	中清水		1	2	1			4
	伊波	2	2	1		1	2	8
	妙金島			2		2		4
	新保	2	1	4	1	3	1	12
	松ヶ崎		1	2			1	4
合 計		10	15	22	8	16	15	86
鹿谷小学校 校区	保田	1	2	2	2	6		13
	西光寺		2	1	1	1	1	6
	北西俣	3	3	1	4	2	2	15
	矢戸口		1	1	1	2	1	6
	本郷	2	1	2	1	1	1	8
	西遅羽口	1		1		1	2	5
	東遅羽口	2		2				4
	杉俣			1	1		1	3
	志田	8	11	2	3	1	2	27
	発坂	2		2	1	2	3	10
	出村	2	2	1	2	1	4	12
合 計		21	22	16	16	17	17	109
北郷小学校 校区	西妙金島			1	1			2
	檜曾谷	1		1				2
	新町						1	1
	志比原		2		1			3
	上森川	1	1	1	1			4
	下森川	1	3	2				6
	東野	2	3	2	4	3	8	22
	伊知地	4	3	4	5	4	7	27
	坂東島		4	2	2	3	3	14
	上野	2		1			1	4
	岩屋							0
合 計		11	16	14	14	10	20	85
北部中校区合計		42	53	52	38	43	52	280

平成17年4月1日現在の人数から算出 平成17年 児童数(現6～11歳)							
1年 6歳	2年 7歳	3年 8歳	4年 9歳	5年 10歳	6年 11歳	計	
1	1	1			1	4	
						0	
1	3	1		2	1	8	
1		1				2	
1		1	2		3	7	
1	1	1			1	4	
		2	1	2	3	8	
						0	
	1	2		1	1	5	
	2		1	1		4	
	1	1	3		1	6	
1	3	2	2	3	1	12	
1	2	1	1		1	6	
1				1		2	
2	3	5	8	4		22	
1	2	2	2		1	8	
6	5	1	7		5	24	
						0	
17	24	21	27	14	19	122	
6	3	6	3	4	5	27	
1	1	1	1			4	
2	2	2		1	3	10	
1	2	3	2	2	1	11	
2	2	1	3	2	1	11	
1	2			1	4	8	
2			2			4	
1					1	2	
2		2	1	3		8	
2	3		2	1		8	
2	3	2	4	4	3	18	
22	18	17	18	18	18	111	
					1	1	
				1		1	
	1	1				2	
1		1			2	4	
3		3	1	1	2	10	
1	1		2	3	4	11	
1	4	4	6	3	6	24	
1	2	1	3	3	3	13	
10	3	5	4	7	5	34	
						0	
						0	
17	11	15	16	18	23	100	
56	53	53	61	50	60	333	

案

統廃合せず、現行の学校を維持

平成 2 3 年度見込み () は学級数を示す。

比較する点		複式学級校保有校				単式学級校					1 学年複数学級校
学 校 名		平 泉 寺 小 学 校	三 室 小 学 校	野 向 小 学 校	荒 土 小 細 野 分 校	成 器 西 小 学 校	村 岡 小 学 校	荒 土 小 学 校	鹿 谷 小 学 校	北 郷 小 学 校	成 器 南 小 学 校
児 童 数	1 年	1	7	5	2	26	35	8	21	11	57 (2)
	2 年	5	5	9	1	43	27	14	22	16	62 (2)
	3 年	5	6	1	1	32	33	21	16	14	66 (2)
	4 年	7	6	7		28	30	8	16	14	72 (2)
	5 年	8	5	7		33	38	16	17	10	70 (2)
	6 年	7	7	7		29	40	15	17	20	71 (2)
	合計	33	36	36	4	191	203	82	109	85	398 (12)

- ・ 複式学級保有校とは、1 クラスで 2 学年が一緒に学習する複式学級がある学校です。
- ・ 単式学級校とは、全部の学年が、1 学年 1 クラスで構成されている学校です。
- ・ 1 学年複数学級校とは、1 学年 2 クラス以上で構成される学校です。平成 2 3 年度には、この規模の学校は、成器南小学校だけになります。

案の特色は、次のようなことがあげられます。

学校は地域ごとに存在し、地域と学校の交流が深く、学校を取り巻く伝統・文化の継承がしやすくなります。

複式学級は、少人数なので、教師の目が行き届き易く、きめ細かな指導ができます。

複式学級や単式学級校の人数の少ない学級では、少人数であるため、1 人 1 人の役割がはっきりし、学校での自分の活躍の場があります。

検討課題

学級の人数が少ないと人間関係が固定されたり、交流活動に広がりを持たせにくくなったりすることがあります。

児童数が減少していくと、PTA 会員数も少なくなり、学校運営や教育環境管理の面で人手が足りないことが生じます。

案

複式学級解消のための統廃合

平成 23 年度見込み () は学級数を示す。

比較する点		統廃合校区 1				統廃合校区 2			統廃合校区 3			統廃合せず		
学校名		平泉寺小学校	三室小学校	成器南小学校	統合 A 校	野向小学校	村岡小学校	統合 B 校	荒土小細野分校	荒土小学校	統合 C 校	成器西小学校	鹿谷小学校	北郷小学校
児童数	1 年	1	7	57	65 (2)	5	35	40 (1)	2	8	10	26	21	11
	2 年	5	5	62	72 (2)	9	27	36 (1)	1	14	15	43	22	16
	3 年	5	6	66	77 (2)	1	33	34 (1)	1	21	22	32	16	14
	4 年	7	6	72	85 (3)	7	30	37 (1)		8	8	28	16	14
	5 年	8	5	70	83 (3)	7	38	45 (2)		16	16	33	17	10
	6 年	7	7	71	85 (3)	7	40	47 (2)		15	15	29	17	20
	合計	33	36	398	467 (15)	36	203	239 (8)	4	82	86	191	109	85

- ・ 市内の小学校は 6 校になります。
- ・ 統合 A 校だけが、各学年 2 学級以上になりますが、残りの学校は、単式学級校がほとんどです。

案の特色は、次のようなことがあげられます。

児童数が極端に少ない学校がなくなり、互いの意見の練り合いができます。

学級でのグループ活動等で、4 人グループが 4 つ以上でき、互いの意見交換やグループ間の比較や練り合いが容易になります。

1 学年 1 クラスの場合、計画から実行まで、すぐに取り組むことができます。

検討課題

単式学級では、小学校の間はクラス替えができず、人間関係が固定化されます。

統合される学校では通学区域が広がり、通学に要する時間が余分にかかり、通学手段の確保が必要です。

案

1 学年複数学級がある学校への統廃合

平成 23 年度見込み () は学級数を示す。

比較する点		統廃合校区 1				統廃合校区 2				統廃合校区 3				
学 校 名		平 泉 寺 小 学 校	三 室 小 学 校	成 器 南 小 学 校	統 合 A 校	野 向 小 学 校	村 岡 小 学 校	成 器 西 小 学 校	統 合 B 校	荒 土 小 細 野 分 校	荒 土 小 学 校	鹿 谷 小 学 校	北 郷 小 学 校	統 合 C 校
児 童 数	1 年	1	7	57	65 (2)	5	35	26	66 (2)	2	8	21	11	42 (2)
	2 年	5	5	62	72 (2)	9	27	43	79 (2)	1	14	22	16	53 (2)
	3 年	5	6	66	77 (2)	1	33	32	66 (2)	1	21	16	14	52 (2)
	4 年	7	6	72	85 (3)	7	30	28	65 (2)		8	16	14	38 (1)
	5 年	8	5	70	83 (3)	7	38	33	78 (2)		16	17	10	43 (2)
	6 年	7	7	71	85 (3)	7	40	29	76 (2)		15	17	20	52 (2)
	合計	33	36	398	467 (15)	36	203	191	430 (12)	4	82	109	85	280 (11)

- ・ 市内の小学校は、3 校だけになります。
- ・ この統合では、各小学校のほとんどで 1 学年複数学級（2 学級以上）になります。

案の特色は、次のようなことがあげられます。

児童数が多いことで、多様な物の見方・考え方が分かり、学習面の交流が深まります。

学級数が 2 クラスあるため、お互いに切磋琢磨して、いい意味での競争心が見られます。また、クラブ活動や集団活動では選択の幅が広がります。

クラス替えができるため、いろいろな人間関係をつくりだすことができます。

検討課題

通学区域が広がり、通学に要する時間がかかり、通学手段の確保が必要です。

学校のない地区では、地域との一体感を保つことや伝統・文化の継承等が難しくなります。

最後に

以上の資料を参考に家庭・地域でいろいろと論議していただきたいと思います。児童・生徒の立場に立って、次世代を育成するために望ましい小・中学校のあり方を考えていただきたいと思います。今年度中には、どの案にするとよいかについてのアンケートを学校を通じ、実施していく予定です。今後とも、学校、教育委員会へのご理解・ご協力をよろしくお願い致します。